

■理事会 Report

理事会報告

日本風力発電協会 前事務局長 岩田 陸

1. 理事会構成等について

理事会は理事全員によって構成されます。平成22年度の総会後の理事は12名であり、その理事と監事により理事会は運営されました。監事は、理事会の議論に加わることはできませんが、理事の業務執行を監督する立場として、法上、出席することが認められています。また、議長は定款により代表理事が務めることとされています。

2. 22年度の理事会決議等について

総会終了後の新体制となった22年6月から23年5月までの理事会の主な審議等について、以下、記させていただきます。

22年7月 予算

収入61百万円、損益見込みをトントンとする22年度予算が承認されました。

22年8月 WGの組成

規制緩和、FIT、法アセス、自主アセス等のWGの結成が承認されました。

22年9月 研究開発費の用途について

予算として認められた研究開発費総枠7.5百万円を、系統連系対策手段調査(3百万円)、海外風車運用データ取得(0.5百万円)、騒音・低周波音フィールド計測(3百万円)等に用いることが承認されました。

22年10月 EWEAからの退会

配布冊子 Wind Direction の無料ダウンロードが可能になったことより、入会継続メリットなしとして、退会が承認されました。

23年11月 予算見直し

予算が4百万円程度良化していることより、接地特性調査(1百万円)、協会会議室の空調強化等の設備増強(1百万円)、広報活動の積極策実施(1百万円)等を行うことが承認されました。

23年1月 非営利型法人への移行
会員からの年会費等の収入を無税化できる税法上の非営利型法人への移行の要件となる定款変更を決議する為、3月8日に臨時社員総会を開催することが承認されました。

同 マスコミ各社との情報交換会

マスコミより、補助金、天下り等に対する穿った見方を報道される等、業界に対するアゲインストの事態が続出したため、風力発電に関する理解を深めて頂き、応援も頂けるような施策(E X、施設見学&協会幹部との情報交換会等)を講じることが承認されました。

23年2月 風車事故速報

所定フォーマットにより事業者各社がその発電所に関わる事故報告を行い、同報告をHPに掲載することが承認されました。

23年3月 決算

東北関東大震災義援金として1百万円の寄付等を行い、税後1百万円程度とする決算方針が承認されました。

23年5月 JWEAについて

任意団体から一般社団法人への改組、日本風力エネルギー学会(英文呼称は不変)への名称変更が報告されました。

